

編集後記

『年報太宰府学』第二号をお届けします。

本号におきましては、川添昭二顧問ご提供の文献目録をはじめ、磯望・佐伯弘次両委員・西木真織氏・後藤健介氏・黒木貴一氏・宗建郎氏・荒木和憲氏・下高大輔氏と多くの方々にご寄稿いただきました。誠にありがとうございました。

磯委員他による論文は、太宰府市周辺を素材として、アメリカの地球観測衛星(LANDSAT)で観測した衛星データ画像の季節による変化を論じたものです。このような自然科学系の論考は、現有の資料室スタッフではまず執筆は望むべくもなく、掲載できませんでしたことをうれしく思います。

荒木氏および朱雀の研究ノートは、奇しくも蒙古襲来前夜における外交文書についての論考が揃いました。荒木氏の論考では、近年末紹介文書を含むことが報告された『異国出契』という資料から、文永七年二月日付の大宰府守護所牒を復元されました。『中世資料編』の誤りをご指摘いただき、ありがとうございます。朱雀の原稿は『中世資料編』の編集時の作業成果をもとに、至元八年九月二十五日付趙良弼書状の性格を考察したものです。佐伯委員の研究ノートは『中世資料編』所収の「少弐氏発給文書目録」に収録する未翻刻の少弐氏発給文書(韓國国史編纂会所蔵宗家文庫所収)を翻刻・紹介し、考察を加えたものです。『中世資料編』編集時の貴重な成果を報告することができ、大変うれしく思います。

重松氏の研究ノートは竹田定簡著『太宰府備考』の紹介を兼ねて、太宰府址碑との関連について述べたもの、川添顧問・重松氏共編の文

献目録は、発掘二〇周年を迎えた鴻臚館に関するものです。このような資料翻刻・文献目録編集は、当資料室が提唱する「太宰府学」の基礎的な作業です。今後も継続して公開していきたいと考えております。下高氏の遺跡紹介は氏が実際に現地を歩いて得た最新の知見をもとにその歴史的位置付けを行ったものです。大変貴重なご報告をありがとうございました。

いずれも、市史刊行時からの着実な研究のあゆみを感じる論考等となりました。今後も「太宰府学」の成果を公けにしていく場として、本書が末永く継続していくことを念じます。(J)

年報太宰府学 第二号

発行日 平成20年3月30日

編集 太宰府市市史資料室
発行 太宰府市

〒八二一〇一〇一

太宰府市観世音寺二丁目一号

電話 〇九二一九二二二二二

印刷 株式会社博多印刷

〒八二一〇〇二八

福岡市博多区須崎町八番五号

電話 〇九二二二八二〇〇四一